

て 手をつないで

1 て 手をつないで — 神戸と仙台 —

東日本大震災にあった仙台市の小学生を元気にするため、神戸の人たちがまちにしょうたいしてくれました。その後、神戸市の小学生が仙台市をおとずれたり、テレビ電話を使って話し合ったりする交流がはじまりました。



「新黒しおまい太こ」をひろうする
東六郷小学校の子どもたち



火事のひがいが大きかった商店がいを
歩く、神戸と仙台の子どもたち

神戸のまちにしょうたいして
もらって、分かったことがあり
ます。それは、「まちのつよよこ
と「人びとのやさしさ」です。
わたしは、みんなの力を合わ
せれば、神戸のように、仙台も
きつとふっこうでできると思いま
した。
(宮城野区の小学生の作文)



未来に残したい神戸のまち (神戸市立本山南小学校より)

阪神・淡路大震災から二十一年が
たちました。「未来に残したい神戸
のまち」という絵を描きました。
この絵には、山と海に囲まれた神
戸の風景の中にお年寄りから子ども
までが思いやりの心をもって平和に
くらす姿が描かれています。
絵の中には、仙台の小学校のみな
さんのことを考えて、「仙台」の文
字も入れました。みなさんで見えて
ただければ幸いです。
(神戸市立本山南小学校 児童会)